

【今年度の重点目標】

しなやかでたくましく、他者とよりよくつながる伯太中生徒を育てる
～学力向上と前向きな「あい」にあふれた集団づくりを通して～

【校訓】
独立 協力 技術

青春の夢

R3.5.31 伯太中学校だより

(文責:校長 田中 修)

例年より早い梅雨入りでしたが、雲間に見せる青空にホッとさせる日も多くあります。

校務員の田邊さんに池の掃除をしてもらい、鯉たちが気持ちよさそうに泳いでいます。

梅雨空の下で咲く、花壇の花々



また、SGA部のみんなは、玄関前の花壇をきれいに整えてくれました。

「ふるさと伯太町を知る」 総合的な学習の時間（1年生）

総合的な学習の時間には、いくつかのテーマで取組を展開します。その中の「ふるさと」をテーマにした学習では、1年生で「知る」、2年生で「(他の地域から)見る」、3年生で「貢献する」という視点で学びを深めています。

5月19日(水)に1年生が体験した「チューリップの球根掘り」は、その学習の一環です。

開会式「体験を通して、ふるさとについて語れる人になろう」



【生徒の感想(一部)】球根を取るときに、ずっとしゃがんで取るので、とても大変だったし、とても暑い中やっているのだと分かりました。春に咲くチューリップは、苦勞して咲いているんだと感じました。

今までありがとう

5月29日(土)、生徒玄関前に2本で寄り添って生えていた楠(くすのき)を切りました。倒木の危険があったため、泣く泣く決断しました。在校生そして、卒業生を見守ってきたシンボルツリーでした。今までありがとう。



明るくなった生徒玄関。新たな気持ちで新たなスタートを!!



見守ってくれてありがとう! ↑



安全・安心・安定感のある・明るい学校に

【生徒の感想(一部)】伯太町のシンボルであるチューリップは、いつも見るだけでしたが、私たちがきれいなチューリップが見られるのは、寺田さんをはじめ、たくさんの方が草取りしたり球根を植えたり、収穫したりしてくださるおかげだと、改めて思いました。



寺田様、ありがとうございました。

2年生は修学旅行、3年生は職場体験と、すでに準備・計画が始まっています。

部活動強調週間

5月24日(月)からは、市総体と吹奏楽祭に向けた部活動強調週間でした。

壮行式では、3つのミッションを伝えました。

- (1) 絶対負けないこと
- (2) マナーが一番
- (3) 感謝の気持ち

準備をしっかりと、力を精一杯発揮することで、悔いのない大会にして欲しいと思います。結果報告を楽しみに待ちたいと思います。

勝ちに不思議の
勝ちあり
負けに不思議の
負けなし

(22日)伯太スタジアムにて、新ユニフォームで練習試合



野球部、塚原さんには、校庭のグラウンド整備をお世話になりました。ありがとうございました。



どの部も、ゲーム形式練習では、対話を大切にしていました

女子バレーボール部は、今日も「感謝の気持ちを形に表す」朝掃除を続けています。



この言葉は、故野村克也氏(プロ野球監督)の座右の銘ですが、元は平戸藩主の松浦静山の言葉です。解釈はいろいろありますが、「勝ちには偶然があっても、負けは必然。ならば、負けない精進を続けるべし」と捉えています。勝った負けたで一喜一憂するのではなく、勝負から何を学び取るか。運を引き寄せる努力を、日々していたかが大切です。

大会直前! まずは、「絶対負けないこと」相手に負けず、どんな状況にも負けず、そして、自分の弱気に負けずに勝負してきてください。(言葉は、階段下に貼っておきました)

鳥根県東部地区吹奏楽祭に参加

吹奏楽部は、5月30日(日)にアルテピアでの上記演奏会に参加しました。

昨年度から演奏の機会が減り、不安もあったと思いますが、演奏が始まると迫力のある音がきれいに響き、難しいリズムを上手に刻んで、ノリノリの演奏でした。とても感動しました。演奏後、近くの高校生が「楽しそう」と会話していました。



音楽室でも、日に日に音色が素敵になっていました。

本番では、さらによい音色が、観客の皆さんに届けられました。



5月26日(水)に3年生で実施した「救命救急法講習会」、全校で取り組んだ「学級目標発表会」の記事は、HPに載せております。

ぜひ、ご覧ください。